

平成30年5月31日  
国土交通省 東北地方整備局  
玉川ダム管理所

## 玉川ダムの5月18日における 洪水調節について（速報）

～平成2年のダム竣工から、5月期で既往第2位となる  
流入量 約641m<sup>3</sup>/s を記録～

玉川ダムでは5月18日の前線の影響に伴う降雨による出水において、玉川ダム竣工（平成2年）から、5月期で既往第2位となる流入量、約641m<sup>3</sup>/s（1秒間に25mプール約1.3個分）を記録しました。  
玉川ダムからは、最大で約197m<sup>3</sup>/sの放流とし、約450m<sup>3</sup>/s（約70%）の洪水を低減させました。  
その結果、玉川ダムでは約1,350万立方メートル（東京ドーム11個分）の水を貯め込んで下流地域の洪水被害の軽減に努めました。

※東京ドーム124万m<sup>3</sup>、25mプール500m<sup>3</sup>で試算

### ■玉川ダムの概要（速報値） （平成30年5月31日17時現在）

年月日	平成30年5月18日	
総雨量	流域平均 約 183mm	(5月17日18:00～19日18:00)
最大時間雨量	流域平均 約 21mm	(5月18日14:00～15:00)
最大流入量	毎秒 約 641立方メートル	(5月18日16:10)
最大流入時の放流量	毎秒 約 192立方メートル	
最大調節量	毎秒 約 450立方メートル	
貯留量	約 1,350万立方メートル	

※数値は全て速報値である

○詳細は別紙のとおり

※最大流入量＝ダムに入ってきた1秒間の最大の水の量

※最大流入量時の放流量＝1秒間に最大の水の量が入ってきているときのダムから流している水の量

※最大調節量＝ダムに入ってきた1秒間の最大の水の量－その時のダムから流している水の量

※貯留量＝ダムに貯め込んだ量

#### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 玉川ダム管理所  
管理所長 泉谷 敏広（内線：201）  
専門職 佐々木 大（内線：330）

〒014-1205 秋田県仙北市田沢湖玉川字下水無92

TEL：0187-49-2170 / FAX：0187-49-2166

# ダムの治水事業効果

累加レーダー雨量  
(17日19時～19日7時)

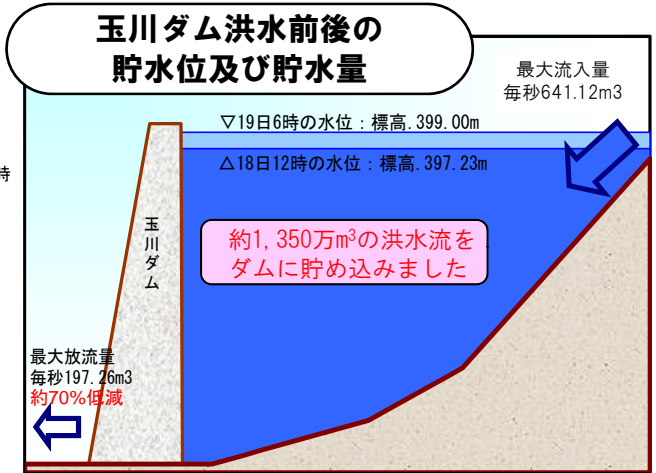
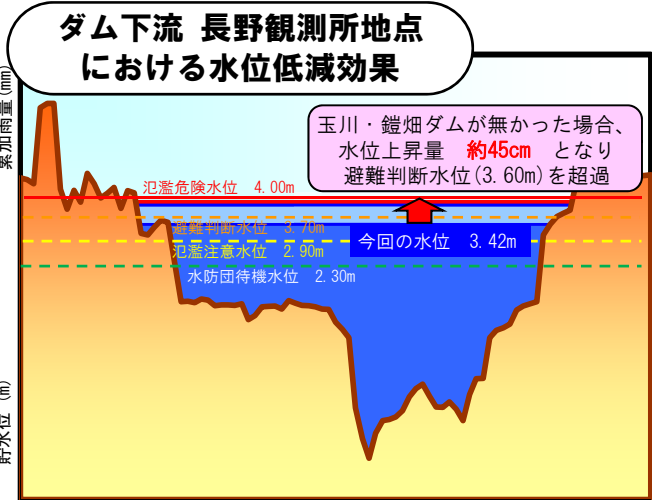
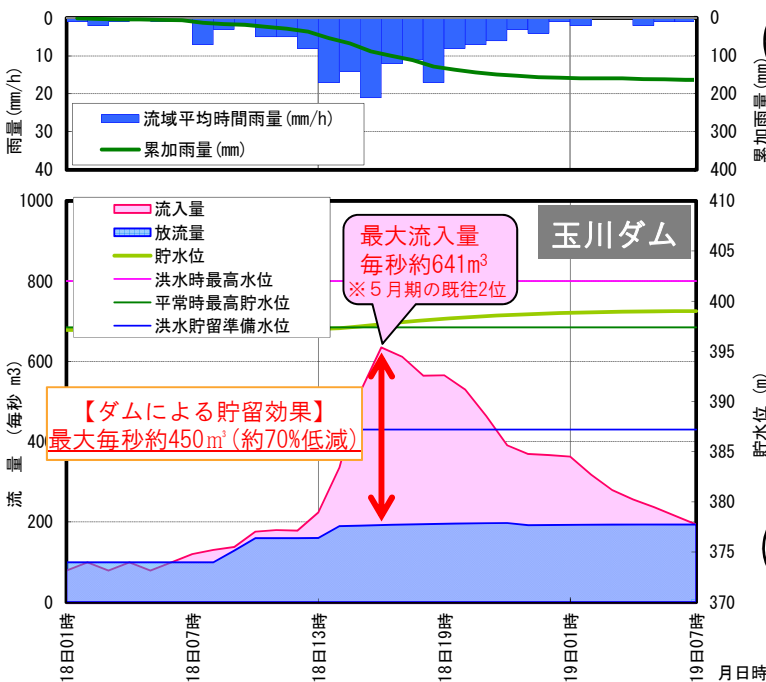


○支川玉川に位置する玉川ダム(国)・鎧畑ダム(県)では、平成30年 5月17日から防災操作を行いました。玉川ダム管理開始以降、5月期で既往第2位の規模となる流入量(約641m<sup>3</sup>/s)を観測し、ダムに流れてくる水量の一部(約1,350万m<sup>3</sup>※東京ドーム11個分)をダムに貯めることで下流へ流す水量を最大で約70%低減しました。

○ダムによる洪水調節の結果、玉川の水位を低下させると共に、雄物川の浸水被害軽減に寄与したと推定されます。

玉川ダム諸元(国土交通省管理)	
型式	重力式コンクリートダム
ダム高	100.0m
堤頂長	441.5m
総貯水容量	254百万m <sup>3</sup>
有効貯水容量	229百万m <sup>3</sup>

鎧畑ダム諸元(秋田県管理)	
型式	重力式コンクリートダム
ダム高	58.5m
堤頂長	236.0m
総貯水容量	51百万m <sup>3</sup>
有効貯水容量	43百万m <sup>3</sup>



防災操作開始前の  
貯水位 EL. 397.22m

防災操作終了時の  
貯水位 EL. 399.00m

※記載の数値は速報値であり、今後変更の可能性があります。